日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部便り
第29号
2009年10月20日
編集兼発行人
藤森　好則

“秋分の頃”

撮影者：　後藤　隆雄
撮影日：平成 21 年 9 月 16 日　16：00 頃
使用カメラ：Canon EOS 5D
シャッター速度:1/13 秒　絞り：F22.0
ISO:100　レンズ焦点距離：65 mm　三脚
撮影余話：当日は撮影したことがない夕陽の差す偕楽園の萩を撮りに出かけました。庭園内の萩はすでに終わりに近かったのですが、柔らかな夕陽を浴びて萩の花や葉、枝など萩全体が艶やかな秋の装いに輝いていました。園内は散策する方も次第に少なくなり、静けさに包まれ始めていました。

リレー随筆（２９）
ドイツ語を学んで２０年　　佐野　司

ボケ防止と語学

退職に際して、大先輩から老後のボケ防止には、外国語の勉強が有効であると勧められ、６０の手習いでドイツ語の勉強を始めました。まず茨城大学のドイツ語公開講座を受講し、文法の初歩と会話の基本を教わりました。次いでドイツ滞在経験者を中心に、ドイツ語を趣味として楽しんでいる水戸ドイツ語クラブに参加しました。老若男女２０人のたのしい集いでした。

趣味とはいえ、やはり目的を持つと勉強に張り合いがでます。ドイツを旅行すること、ドイツの本を原書で読むこと、インターネットでドイツの新聞を読み、日々変化するドイツの国情に接すること、の３項目を目的に掲げて勉強を始めました。

手作りのドイツ旅行

一番の思い出は、水戸ドイツ語クラブのメンバー全員で企画した手作りのドイツ旅行でした。日程から乗り物とホテルの予約など、皆で分担してまとめました。

習い覚えたばかりのドイツ語が、予想以上に効果を発揮したのには大喜びでした。日程には参加者個人の自由行動日も組み込みましたが、私は、若い頃に愛読した「車輪の下」の著者ヘルマン ヘッセの生誕地カルフにあるヘッセ記念館を訪ねることにしました。黒い森に近い静かな田舎町でしたが、そこに通じるローカル鉄道で会った人達の方言に困ったのも今では楽しい思い出です。後年、スイスを旅した時、ヘッセの終焉の地、南スイスの小さな町モンタニョーラを訪ねました。老境のヘッセはこの地で庭いじりに精を出し、水彩画を描き、思索し、「人は成熟するにつれて若くなる」など、示唆的内容の随筆を発表しています。記念館で購入したヘッセの本を今でも楽しんでいます。

ドイツのローカル鉄道の駅で

ドイツの新聞

ご承知のようにインターネットで世界各国の新聞が家にいながらにして無料で読むことが出来ます。またラジオの放送も直接聴くことができます。ドイツ語に親しみ始めて２０年近くが経過した今でも、日課として毎朝ドイツの新聞（３紙）に目を通しています。私の場合、先輩の助言どおり、語学がボケ防止に役立ってくれているようです。

先日の日本の総選挙では民主党が大勝しましたが、ドイツの新聞も早速取り上げています。「政治家の傲慢さと独善性に対する選挙民の反乱」という見出しで報道した新聞もありました。

ドイツでも９月２７日に連邦議会の総選挙が実施されました。ドイツ政府は２大政党の大連立政権ですが、選挙の結果は、「新しいドイツ」との新聞見出しが示すように、連立２大政党が大幅に議席を減らしその分、左翼党や緑の党など中小政党が議席を増やしました。日本で自民党の長期政権に対する批判が噴出したのと同じく、ドイツ国民が大連立政権の長期化を忌避した結果だとも言われています。今後、大連立政権は崩壊し、個人的人気の高いメルケル現首相の下で、新たな保守中道路線の連立政権が組織される見通しが報じられています。今年は日独共に、アメリカも含めて、政治的には大変革の年になりました。

会員投稿（第27回）

科学の街に民話がやってきた

《紙芝居屋のおやじになって》

河本　紀久雄

定年直前に糖尿病と診断され、第二の人生設計が白紙となってしまった。時間潰しに顔を出した公民館講座に「**村の民話の再生活動**」があった。

この講座の趣旨はＪＣＯ事故(平成十一年)により、停滞している村の活性化対策として開始された一種の村興しで、昭和五十六年に出版されたまま埃を被っていた村の民話本記載の説話をもとに起承転結のある物語とし、紙芝居などに仕上げる作業であった。この講座は二年で終ったのであるが、興味を覚えた十数人は自主団体「**民話再生の会**」を立ち上げ継続して活動を始めた。自立したことにより、製作活動は更に活性化し「なぜ村の民話か、誰に見せるのか」など細かな考慮が払われることになった。活動は二班に分け、年に各一話づつがやっとながら製作が続いた。その内、作った紙芝居の上演依頼が出始め、冷や汗をかきながら、紙芝居屋を始めた頃には会長職にまつり上げられていた。

地域での紙芝居上演風景

そんな時期の平成十八年に、県の「**生涯学習フェスティバル**」に、東海村代表として出場することとなった。「紙芝居作りがなぜ生涯学なのか?」の疑念を抱きながらも、その答えをまとめ、紙芝居作りの作業手順をフローダイアグラムに書きあげた。これには会社で培った業が生きた。更に民話絵葉書作り、ＤＶＤ取込みなど多くの準備作業を終え、笠松運動公園に設けられた村のブース内で紙芝居の上演、展示物の説明や紙芝居の作り方やらを、尤もらしく説明したりと奮闘を続けた。しかしこれは我々に多くの教訓を与え、かつ「作るだけではなく普及も必要」と活動意識も大きく変わっていった。

生涯学習フェスティバルの終了を待ったかのように役場から「**二年後の国民文化祭に「民話フェスティバル」**をやりたい、の話が出た。

その上今度は企画委員長として計画一切のまとめをやることになってしまった。まずはキャッチフレーズと目玉作りから始めた。民話フェスティバルは五年前の平成十五年に伝統のある山形県で行われており、後追いは出来ないので、原子力の村と両立するアピールの策定から始めたのである。それが、村にあるミュージカル劇団(愛称「とみかる」)に「村の民話をやってもらう」であった。この時期、既に我々の再生した民話は十一話に及んでいたのである。

東海村はかつて石神村と村松村が合併してできた村であり、生活の息吹である伝説的説話は、両村を中心に多くあり、更に狐などの動物と人間にまつわる伝承も多く残されている。こんな歴史の上に現在の姿を重ねた「**科学の街に民話がやってきた**」**をキャッチフレーズ**として制定した。早速「とみかる」と相談し、演題を村松地区の伝説「**真崎城の白百合姫**」に決めた。ところが、この物語は白百合の大好きなお姫様が落城と共に自害し、その恨みから白百合も咲かなくなったとの説話で、多くの農民が登場し「大人が足りないので、民話再生の会も参加して欲しい」との要求がついてしまった。

こうして主催者側の体制を固めた後、全国への参加募集をし、熊本から山形に至る六団体と県内二団体の選定を経て、「とみかる」をトリとしたプログラムが出来上がった。

ミュージカルも昨年八月には初の通し上演を迎え、「民話とミュージカルは合わないのでは」の心配も中盤からはハンカチを取り出す羽目となり、この懸念も霧散した。さらに「台本作り、作詞作曲や振り付け指導など総てを村民の手で完成した」を聞いた時には、絶対に成功させねばならない気持ちを持たされるに至った。只、帰り際に「次回の練習から皆さんにも練習参加が欲しい」を聞き荷物の重さに不安も湧き上がった。

「真崎城の白百合姫」(筆者右端)

そして**昨年十一月の国民文化祭**を迎えた。開場から入場者は続き、立ち見となっても入場者は止まない。慌ててロビーに映像画面を据える。予測を超えた反響に胸を撫で下ろしつつ、最後に控えた自分達の出番を待った。楽屋に入り、衣装を着替えて舞台に立つ、ド素人の紙芝居屋の晴れ舞台であるが足は震える、セリフを間違えないようにと、そればかりが気になり客席は見えない。やっとフィナーレの音楽とともに幕は閉じた。大きな拍手に感激が走る。玄関ロビーに出ると、知人友人が帰らずに待っていて祝福の声をくれた。そんな中から「半分しか見られなかった」、「子供に見せたい」の声も耳に届く。小学生の人数制限が不満を呼んだのか、と反省が湧く。翌日からも「ぜひ再演を」の声が続々と届く。「このまま国民文化祭を終らせる訳にはいかない」の気持ちが強くなってきた。

この圧力に背中を押され、**三月に急遽再演**にこぎつけた。会場は小規模ながらも満員となった。終了後のロビーにも又皆が残っていた。「ありがとう」の声に、「**これで国民文化祭が終った**」と実感する。二年半の苦労を消し去る良い思い出が残った。会社人生でこんなことはあっただろうか?

あれから半年経た現在、今は子供達も交えて次の紙芝居作りの世界にいる。あの熱い声は丸まった背中をまだ押し続けている。再びあのような感激はないだろうと思いつつも。

河本紀久雄氏　連絡先
〒319-111 那珂郡東海村船場737-6
電話番号　029-283-1851

同好会行事に参加して

第 41 回研修会「日立事業所臨海工場(HGNE 社原子力製造部および臨海発電所)見学」　小山　高一

最初に見学した原子力製造部は、地球環境保全の観点から原子力発電所への関心が高まっていることもあって、皆さん工場案内の説明に熱心に耳を傾け質問されていた。説明では現在製作中の国内電力会社(中国電力、電源開発の２地点)向け機器製造と海外含む次プラントの機器製造・建設の高品質、高効率化を目指して最新の大型機械加工設備、レーザー溶接設備、試験評価設備等を新たに導入した由、職場にも活気が感じられ今後が楽しみです。次いで見学した日立臨海発電所は、東京電力の電力卸供給事業（ＩＰＰ）に応募、設置したコンバインドサイクル発電設備２基を有する合計約 20 万 kW の発電所で、経済性を追及した発電所の建設、運転、保守などのノウハウを蓄積、国内外のエネルギーソリューションサービス事業に積極的に取り組んでいるとのことでした。以上今回は身近な所で大変有意義な研修ができ感謝しています。

「囲碁」ー第 33 回 囲碁大会に優勝して　山内　益正

社友クラブ囲碁のスタートはH12年11月だから今年の 11 月で満 10 年になる。月２回の例会にほぼ毎回参加し、３ヶ月に１回の大会には欠かさず参加してきた。大会参加者は 20 名前後。今回(H21 年７月)の大会で７年ぶりの優勝が出来た。これはフロックではない。いつも囲碁に、ゴルフに、一緒してくれる青葉台・堂平の仲間６人のお陰である。リーダーは、私の５年先を走っている先輩の鈴木博之(79 才)さんで、いつも全員が気合を入れられている。先日も宿泊で碁とゴルフで鍛えられた。これからも、社友クラブの囲碁だけでなく、「歩こう会」「歴史探訪」など各種行事に積極的に参加し楽しもうと思っている。

「極楽サロン」へ参加して　加子　泰彦

極楽サロンには古くから参加していますが、未だに一方的に恩恵を享受するだけの会員です。参加の主目的はパソコンに関する実践的な知識・技法を効率よく習得することで、若しこれまでに身に付けたものを書物および個人の試行錯誤のみによって得たとすれば、膨大な手間と費用がかかったのに違いありません。現在、セキュリティ対策に大きくつまずくこともなく、ブラウザ、画像ソフト、オフィスなどのアプリケーションを利用して曲がりなりにもパソコンライフを楽しむことが出来るのは、これまで極楽サロンに参加してきたからこそと感謝しています。一方、老化に伴って物忘れが激しくなり、普段使用しない手法はすぐ忘れてしまいますので、何時までもパソコン初心者の域を脱しきれません。従って極楽サロンへの貢献度はゼロのままであり、慙愧に堪えません。

支部からのお知らせ

理事会・茨城支部役員会報告

＊第 58-3 回　日立社友クラブ理事会報告

１．開催日：平成 21 年９月１日(木)

・理事会に先立ち、小平浪平翁墓所(谷中霊園)墓参を金井理事長以下全理事にて行った。

２．議事

・会員移動状況：会員候補者から 61 名が入会許可され、会員数は 4,930 名となった。

・第 59 回日立社友クラブ総会の件：10 月２日(金)ホテルニューオータニで実施する。
長寿祝：該当者なし　米寿：35 名　喜寿：184 名

＊第 21-5 回　茨城支部役員会報告

１．開催日：平成 21 年９月９日(水)

２．議事

・新入会員審議
新入会員２名の審議が行われ、入会承認された。９月 30 日現在で茨支部会員数は 1,069 名となった。

・茨支部入会資格の変更
入会資格変更が行われた。主な変更は次の通り。
●日立製作所と同グループ会社で、課長職通算５年以上在任し、60 歳以上の方。詳細は支部ホームページを参照ください。また、グループ会社転出者など、有資格者の掌握が困難になっています。
皆様からも友人・知人への入会勧誘をお願いします。

＊理科クラブ活動報告

お蔭様で日立理科クラブは、学校ばかりでなく、地域・公共団体などからもイベント開催の申込が殺到し、嬉しい悲鳴ですが総てに対応努力中です。

訃　報

真に残念ですが、苦楽を共にした下記の方がお亡くなりになりました。
哀心よりご冥福をお祈り致します。

鈴木　三郎	平成21年	７月23日	享年 94 歳
今泉　佐市	平成21年	８月21日	享年 69 歳
斉藤　　隆	平成21年	９月16日	享年 92 歳
二木　　茂	平成21年	９月20日	享年 74 歳
久保寺朝二	平成21年	９月21日	享年 86 歳

編集後記　支部便りは、会員皆様の寄稿によって成り立っています。どうぞ気楽に文章或いは写真などの作品をお寄せ下さい。佐野さんのリレー随筆は「ドイツ語学習」、河本さんの会員投稿では「民話再生紙芝居」などを通じて、今もなお自己研鑽に努められたり、地域社会の活性化に多大の貢献をされている様子に大変感激致しました。今後ともお元気でご活躍されることをお祈り致します。　**藤森　好則**

同好会の行事ご案内(11 月～1 月)

1．第４２回研修会

［遺言、委任・任意後見 勉強会］

公証日立役場の秋山壽男公証人に講師をお願いし、「遺言について」及び「委任・後見について」と題して勉強会を実施します。

午後は希望者で日立理科クラブを訪問します。

・開 催 日：平成 21 年 11 月 18 日(水)
・集合場所：東暁館本館
・集合時間：9:45
・解散時刻：昼食後
　日立理科クラブ訪問者は 14:30 頃予定
・会　　費：参加者１人当たり 1,000 円（昼食代他）
・募集人員：先着 30 名、期限 11 月 4 日(水)
　奥様の同伴を含め会員外の参加も歓迎します。
・申 込 先：小口 伊佐男　Tel/Fax：0294-37-3048
　E-mail：isao_oguchi@lake.ocn.ne.jp

2．第４０回歩こう会［小山ダム周回ハイク］

高萩市北部の大北川上流にある小山ダムの湖岸を紅葉を鑑賞しながら散策します。同ダムは県内最大の大きさで周囲の紅葉が見事です。

・開 催 日：平成 21 年 11 月 25 日(水)
　(雨天中止の場合は 12 月 9 日に延期)
・集合場所：小山ダム管理事務所駐車場
・集合時間：9:45
・所要時間：10:00～14:30
・昼　　食：ご持参下さい。(現地に売店はありません)
・コ ー ス：ダム湖周回、最後にダム湖底機械部見学
　平坦コースで 7.5km
・会　　費：200 円但し非会員は 500 円
・申込締切：平成 21 年 11 月 18 日(水)
・申 込 先：須江 二郎　Tel/Fax：0294-53-5901
　E-mail：j-sue@nifty.com

2009 年写真展開催のお知らせ

デジカメクラブ、野鳥・自然観察グループ
写真五七五グループ共同開催の写真展

皆様のご来場をお待ちしています

・日時：12 月 9 日(水)9:00～13 日(日)15:00
・場所：多賀市民プラザ内、１Ｆギャラリー
知人への PR もよろしくお願いします！
(世話人代表：デジカメクラブ佐藤一男)

3．定例行事予定一覧表

グループ名		連　絡　先	実施日(曜日) 11 月	12 月	1 月	場　所	時 間	備　考
野鳥自然観察グループ		藤原延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	16(月)			涸沼	9:00～12:00	参加費：¥200/回 原則として雨天中止
				21(月)		鵜の岬		
					18(月)	千波湖		
囲碁の会	日立地区	安藤捷治 0294-37-0759 sh-andou@net1.jway.ne.jp	11(水) 25(水)	9(水) 23(水)	13(水) 27(水)	東暁館別館	10:00～	参加費：¥100/回 大会：¥1300
	勝田地区	七海　清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	19(木)	17(木)	21(木)	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費：¥200/回 大会：¥700
料 理 教 室		澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	9(月)	14(月)	12(火)	山本八千代料理学院	10:00～	参加費：¥2000/回
			24(火)	---	25(月)	明治商会	12:00～	参加費：¥1600/回
卓 球 ク ラ ブ		石川隆宏 0294-32-0261 spka5da9@citrus.ocn.ne.jp	4(水) 18(水)	2(水) 16(水)	6(水) 20(水)	日立体育館	9:00～12:00	参加費、会場費等まとめ：¥2500/年
デジカメクラブ		佐藤一男 0294-53-4573 satoka31010@net1.jway.ne.jp	2(月)	7(月)	6(水)	撮影会以外は東暁館別館	10:00～15:00	参加費：¥1300/回 昼食代含む
写真五七五		八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	6(金)	4(金)	8(金)	東暁館別館	9:30～12:30	参加費：¥300/回 昼食別途
パソコングループ	シニアＰＣ Ⅰ	大越健児 0294-37-4931 ken-ooko@muc.biglobe.ne.jp	16(月)	14(月)	18(月)	東暁館別館	10:00～15:00	参加費：¥1000/回 昼食別途
	シニアＰＣ Ⅱ		24(火)	22(火)	26(火)			
	ＨＰの会	中村　進 0294-52-5525 ssm2332@hb.tp1.jp	3(火)	1(火)	5(火)	東暁館別館	10:00～15:00	参加費：¥1300/回 昼食代含む
	基礎講座	山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	10(火)	8(火)	12(火)	東暁館別館	10:15～15:00	参加費：¥1400/回 昼食代含む
	極楽サロン	島田勇一 0294-34-4467 yshimada@ng.ejnet.ne.jp	19(木)	17(木)	21(木)	東暁館別館	10:15～15:00	参加費：¥1300/回 昼食代含む
	勝田地区	渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	25(水)	22(火)	26(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～16:00	参加費：¥700/回
	MM研	藤原延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	27(金)	25(金)	29(金)	東暁館別館	10:15～15:00	参加費：¥1300/回 昼食代含む

専門講座の日程＜PowerPoint 2007 勉強会：原則第１木曜日、 Illustrator CS2 勉強会：原則第４木曜日＞

目次に戻る